

臨時株主総会 Q&A

(開催日：2023年2月28日)

2023年3月6日

キッズウェル・バイオ株式会社

ご質問

回答

この数年間で株主数は増加していることについて説明はあったが、現在の株価に対して社長としてどのように考えておられますか。

当社としては決して満足しておりません。株価を上げていかなければならないと感じています。

2018年3月末から直近の2022年3月末にかけて、大株主10位以上の法人に関して保有比率が下がっています※。これは機関投資家・大口の法人に対するアピールが足りていないことだと思いますが、どのように考えておられますか。

法人の大株主の保有比率が下がっていること、新たに大株主となった法人がないことは重々認識しています。これまでバイオシミラー事業を育てつつ次の事業を成長させ、機関投資家・法人に当社株を保有頂くという事業戦略を進めてきましたが、成果に結びつけられていない点は、社長である私自身の反省点であり責任だと思っています。今後、機関投資家・法人に当社の大株主として参入頂くためにも、しっかりとSHED事業を進めていくことが私自身の責任を全うすることだと考えています。

(※注：当社の新株式発行やセルテクノロジー社買収による発行済株式総数増加の影響に伴い保有比率が低下していることも要因。)

責任を全うするとかそういうことではなく、社長自身が具体的にどのようなことをされるのか教えてください。IR活動は、株主・投資家に適格な情報を伝えて理解してもらい、投資を促進することだと思っています。機関投資家へ訪問し面談することは行っておられますか。

四半期毎に行っており、加えて重要な局面等で都度行っています。

過去、モルガンスタンレーやゴールドマンサックス等が大株主でしたが、現在は全てそうではなくなっており、空売りをする立場になってしまっていると思います。社長は四半期毎に訪問し面談されておられますか。手ごたえはどのように感じておられますか。

四半期毎ではないが、面談を行っています。SHED事業に関して、どのくらい成長性があるかどうかの見定めを行っている状況だと認識しています。

ご質問

回答

アナリストが説明会の中で重要視しているポイントは、説明内容だけでなく、社長の熱意・姿勢もしっかり確認し、また、従業員の態度やオフィスの整理整頓の状況も確認する、と知り合いの優秀なアナリストから聞いています。社長の事業に対する情熱がアナリストに伝わっていない、信頼されていないのではないのでしょうか。

応援して頂けているアナリストがいることは事実ですが、信頼を勝ち得ていないアナリストがいることも事実です。

ノーリツ鋼機は今のキッズウェル・バイオの株価水準に対して、どのようにお考えですか。

私個人の印象ですが、しっかり事業を進めるように承っていること、引き続き、支援をしていくということは聞いています。

「しっかり事業を進めます」は、どの会社の社長も行っていることで当たり前のことです。社長はどのようなことを行動に移していこうとお考えですか。

SHEDについて、複数ある疾患の中で、脳性まひに対して有効性を示す可能性が示唆されたことが、SHED導入からの4年間で確認でき、ヒトへの投与が可能なステージまで進められている状況です。これをしっかり機関投資家・メディアの方々へ、IRをしっかりと行っていく所存です。
以前は対象とする疾患を見定めている状況でしたが、対象とする疾患を特定し、その情報が公表できるようになったのは、この数ヶ月間の成果だと考えています。

株価は、会社に対する評価ですし社長の評価です。2023年2月21日の会社説明会について、どうして社長が発表されなかったのですか。

機関投資家やアナリストとの面談は継続して行っており、株主総会や、その他重要な局面においては動画を公表させて頂いています。IR・PR活動については、CFO栄と分担して行っています。ご指摘の点に対しては、今後改善していく所存です。

ご質問

回答

なかなか力強い社長からの決意が表明されませんので残念に思っています。キッズウェル・バイオから発表されるプレスリリース等の文章には、株主に対する配慮が伝わってきません。株主と企業が疎遠になっていると思っています。

とある掲示板の状況は本当にひどいと感じています。掲示板で騒がれているのは、100億円の資金、バイオシミラー事業の先細りについて、謝罪がない状況ですが、どのように思っておられますか。

2022年5月に公表した中期経営計画-KWB2.0-に記載のメッセージ等について、配慮が至らなかったと反省しています。

ジーンテクノサイエンス社を発展させることでバトン繋いだつもりが、本日の説明からはその意志は感じられません。十数年手掛けてきたジーンテクノサイエンス社がこのような辛辣な意見を受ける会社になってしまったことに対しては、真摯に受け止めて、会社として存続できる状況をしっかり提示してほしいと思います。

ジーンテクノサイエンス社を引き継がせて頂いた中で、私自身の努力がまだまだ足りていないことは重々認識しています。私の責任としては、このSHED事業を米国展開していくことでグローバルに戦っていけるバイオベンチャー企業に成長させていくことだと認識しており、その熱意をしっかりと伝えられるよう改善していく所存です。

社長がお話された事業を進めていくことは上場会社として当たり前のことだと思います。現状の株価等を踏まえて、株主の気持ちをもっと考えてほしいと感じています。まず、グラス・ルイス社から公表されたレポートに関して、キッズウェル・バイオはどのようなお考えの下、あのタイミングで公表されたのか、その経緯を教えてください。

グラス・ルイス社は第三者機関であり、当社からグラス・ルイス社にコンタクトを行っておりません。グラス・ルイス社が独自で公表されたレポートです。当社からのプレスリリースはフェアディスクロージャーの観点からお知らせした、というのが経緯です。

グラス・ルイス社は、キッズウェル・バイオからの依頼でレポートを発行されたのでしょうか。

当社からは依頼を行っておりません。そもそも依頼することは不可能だと認識しています。当社自身も驚きでした。

ご質問

キッズウェル・バイオから、グラス・ルイス社のレポート公表に関するプレスリリースを公表するかどうかは会社の判断だと思いますが、この点における株主の気持ちというのをもっと考えてほしいです。相手とのコミュニケーション能力が欠けている部分も少なからずあるため、アナリストにもそれが伝わり今の株価水準になってしまっている可能性はゼロではないと思っています。株主の気持ちに歩み寄って頂き、IR・PR活動を行って頂きたいと思えます。

バイオセიმに対するお考えをお聞かせください。昨年バイオセიმが、キッズウェル・バイオのバイオシミラー事業に対して脅威だというような発言をされており、その発言のせいで株価が大きく下がっているという状況ですが、個人的にはそこまで脅威になっていないと感じています。その理由は、協和発酵キリン社のダルベポエチンアルファのバイオセिमが上市された際の薬価に関して、中医協として十分に議論されていない状況だと認識しています。先発品の70%の薬価をバイオセिमに適用（＝バイオシミラーの薬価設定と同様）することは現時点では暫定的であり、最終的な決定はなされていない状況で今後見直されていく余地があると記憶しています。このことを踏まえまして、社長はバイオセिमが脅威だとお考えになられますか、お考えを聞かせて頂きたいです。

回答

ご指摘頂いた点を次の活動に活かしていく所存です。

先発品の特許満了後、直ぐに自社のオーソライズドジェネリックを発売することで、市場の6～7割が置き換わってしまうことは知られています。

バイオセिमもオーソライズドジェネリックと同様、6～7割の市場を自社製品で独占するため、先発品の特許満了後に直ぐに自社のバイオセिमを発売するという戦略をとると推測します。6～7割をバイオセिमで置き換えられた場合、残り3割程度の市場をバイオシミラーが争うこととなります。実際当社のGBS-011でそういうことが起こりましたが、バイオシミラー販売会社が努力されてバイオシミラーのシェア率が向上してきています。ただし、シェア率を獲得するために、バイオシミラーの価格を下げているのが実情であるため、販売する量は増えているものの価格は下げているため、売上高として大きな飛躍しているということにはなっておりません。そのため、当初の想定していた脅威までは今現在感じておりませんが、ある一定程度のリスクはあると考えています。

ご質問

バイオシミラーの価格に関しては、まだ協議中だと思います。そのため、今後上市されるバイオシミラーとバイオセイムが同じ薬価であるとは限らないと推測します。一方、今後バイオシミラー市場がバイオセイムによって縮小する可能性が高いということでしたら、キッズウェル・バイオの事業の在り方を見直すべきだと思いますが、いかがでしょうか。

今後のバイオシミラー事業への投資に関してはどのようにお考えでしょうか。

回答

バイオシミラー事業に関して、当初想定していた収益性を見込める事業ではなくなってきたことは認識しています。そのため、今後SHED事業に注力していくという戦略変更を、2022年5月に行いました。

開発パートナーと提携し、研究開発を進めていく方針です。2030年～2035年にかけて複数の大型バイオ医薬品の特許が満了することが知られているため、それをターゲットに開発パートナーと提携をした上で、次の新たなバイオシミラーを開発していきたいと考えています。

こどもの力になること、こどもが力になれること

KIDS WELL, ALL WELL

